

# HP Performance Manager

Windows®、HP-UX、Solaris オペレーション システム用

ソフトウェア バージョン : 8.10

---

インストール、移行、およびアップグレード ガイド

マニュアルのリリース日付 : 2008 年 6 月  
ソフトウェアのリリース日付 : 2008 年 6 月



## 法律上の通知

### 保証

HP 製品およびサービスに関する保証条件は、製品およびサービスに付属する保証書に明示された保証条件に限定されます。本ドキュメントの記載内容はいかなる追加保証をも行うものではありません。HP は、本文書内の技術上または編集上の誤りや遺漏について責任を負わないものとします。

本ドキュメントに記載した情報は、予告なく変更されることがあります。

### 制限付き権利

機密コンピュータ ソフトウェア。所有、使用、コピーには、HP が発行する有効なライセンスが必要となります。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメント、市販品向けのテクニカル データは、FAR 12.211 および 12.212 に従い、米国政府のベンダー標準商業ライセンスのもと、ライセンスを取得しています。

### 著作権情報

© Copyright 2007-2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標情報

Java™ およびすべての Java ベースの商標とロゴは、米国およびその他の各国のサン・マイクロシステムズ社の登録商標です。

Microsoft®、Windows NT®、Windows®、MS Windows® は、マイクロソフト社の米国登録商標です。

Oracle® は、オラクル社（カリフォルニア州レッドウッド）の米国登録商標です。

OSF/Motif® および Open Software Foundation® は、米国およびその他の各国のオープン グループの登録商標です。

Pentium® は、インテル社の米国登録商標です。

UNIX® は、オープン グループの登録商標です。

## ドキュメントの更新

このガイドのタイトル ページには、以下の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- マニュアルのリリース日付。ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアのリリース日付。ソフトウェアの本バージョンがリリースされた日付を示します。

最新の更新を確認し、最新版のドキュメントを使用しているかどうかを確認するには、次の URL にアクセスしてください。

**<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>**

このサイトをご利用いただくためには、HP Passport ユーザーとしての登録の後、サインインしていただくことが必要です。HP Passport ID を登録するには、以下にアクセスしてください。

**<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>**

または HP Passport ログイン ページの **新規ユーザー - 登録してください** リンクをクリックしてください。

また、製品のサポート サービス契約を締結していただくことにより、更新版または最新版がお客様に送付されます。詳細は、HP の営業担当者にお問い合わせください。

## サポート

次の HP Software サポート Web サイトにアクセスしてください。

**<http://support.openview.hp.com/support.jsp>**

HP Software オンライン サポートにより、対話形式による技術サポート ツールに、効率的にアクセスすることができます。このサポート サイトでは、次のことが可能です。

- 重要なナレッジ ドキュメントの検索
- サポート依頼と改善要求の提出、および経過の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート連絡先の問い合わせ
- 利用可能なサービスについての情報の参照
- 他のソフトウェア ユーザーとの情報交換の場への参加
- ソフトウェア トレーニングの検索および参加登録

これらのサポート項目をご利用いただくためには、HP Passport ユーザーとしての登録の後、サインインしていただくことが必要となります。また、いくつかのサポート項目は、サポート契約中のユーザーにのみ提供されています。

アクセス レベルおよび HP Passport の詳細については、次の URL を参照してください。

**[http://support.openview.hp.com/new\\_access\\_levels.jsp](http://support.openview.hp.com/new_access_levels.jsp)**

# 目次

1	このドキュメントで使用される表記法	7
2	インストール概要	9
	サポートされたプラットフォーム	9
	インストール要件	9
	ハードウェアの要件	10
	メモリの要件	11
	サポートされたブラウザ	11
	通信プロトコル	11
	Java 実行環境 (JRE) の要件	11
	HP-UX	11
	Windows	12
	その他、必要なパッチ	12
	言語のオプション	13
3	インストールの手順	15
	Windows での Performance Manager のインストール	16
	サポート付きインストール	16
	サポートなしインストール	18
	HP-UX および Sun Solaris での HP Performance Manager のインストール	18
	サポート付きインストール	18
	サポートなしインストール	21
	インストール結果	21
	Performance Manager ライセンス キーのインストール	21
	HP Performance Manager の削除	22
	Windows での HP Performance Manager のアンインストール	22
	サポート付きアンインストール	22
	サポートなしアンインストール	23
	HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール	23
	設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除	23
	クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除	23

<b>4 Performance Manager 8.10 へのアップグレード</b> .....	25
Performance Manager 5.x からのアップグレード .....	25
HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	25
Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	27
Tomcat 5.0.25 の保持 .....	28
Windows の場合 .....	29
HP-UX および Solaris の場合 .....	29
Performance Manager 6.x からのアップグレード .....	29
HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	29
Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	31
Performance Manager 8.00 からのアップグレード .....	32
HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	32
Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード .....	33
<b>5 PerfView から HP への移行 Performance Manager</b> .....	35
移行の手順 .....	35
移行後 .....	37
移行後のテンプレートの変更 .....	37
PerfView のバッチ コマンド .....	39
<b>6 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール</b> .....	41
クラスタ用語 .....	41
リソース グループ .....	41
システム要件 .....	42
Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件 .....	42
インストール前に .....	42
Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール .....	43
HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合 ....	43
HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合 ...	43
HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備 .....	46
HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール .....	46
クラスタにインストールした Performance Manager を 8.10 へアップグレード .....	47
Performance Manager 6.x からのアップグレード .....	47
Performance Manager 8.0 からのアップグレード .....	48
HP Performance Manager の削除 .....	48
<b>7 関連ドキュメント</b> .....	49

# 1 このドキュメントで使用される表記法

このドキュメントでは、HP Performance Manager サーバー システム上のファイルの場所を説明する場合、以下の表記法が使用されます。



スラッシュは、UNIX システムではフォワード スラッシュ "/"、Windows システムではバック スラッシュ "\" と表記されます。本ドキュメントでは、フォワード スラッシュ "/" は例および仕様で使用されます。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<install_dir>	Performance Manager がインストールされたディレクトリ。	デフォルトのインストール ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。お使いのシステムに OpenView Performance Agent、OpenView Reporter または OpenView Operations などの旧バージョンの HP Software 製品がインストールしてある場合、デフォルトの Performance Manager インストール ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView です。	HP-UX および Solaris システムでは、インストール ディレクトリは /opt/OV です。
<data_dir>	HP Software 製品に関連するデータファイルおよびログファイルの格納先となる共有データディレクトリ。	Windows 2003 では、デフォルトのデータディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。 Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。 お使いのシステムに OpenView Performance Agent、OpenView Reporter または OpenView Operations などの旧バージョンの HP Software 製品がインストールしてある場合、デフォルトのデータディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView\data です。	HP-UX および Solaris システムでは、データディレクトリは var/opt/OV です。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<PM_data_dir>	Performance Manager データファイルが保管されるディレクトリ。	Windows では、デフォルトの Performance Manager データ ディレクトリは <data_dir>\shared\server\ です。 しかし、Windows クラスタ環境でのデフォルトのデータ ディレクトリは別の場所です。詳細については、 <a href="#">Performance Manager のクラスタ環境でのインストール</a> を参照してください。	HP-UX および Solaris システムでは、Performance Manager データ ディレクトリは /var/opt/OV/shared/server です。

## 2 インストール概要

このガイドでは、Performance Manager 8.10 のインストール、Performance Manager 8.10 へのアップグレード、および Performance Manager 旧バージョンからのデータ移行方法を説明しています。

この章では、次の情報を説明しています。

- 本バージョンの Performance Manager が使用可能なオペレーティング システム。
- Performance Manager を実行するのに必要なハードウェア / ソフトウェア コンポーネント。
- 操作環境に必要なコンポーネント。

HP Performance Manager をインストールする前に、インストール要件および前提条件のセクションを確認してください。Performance Manager のマニュアルについては、[関連ドキュメント](#)を参照してください。

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合は、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定をしておく必要があります。

## サポートされたプラットフォーム

本バージョンの Performance Manager は、次のプラットフォームで使用可能です。

オペレーティング システム	アーキテクチャ	バージョン
Microsoft Windows	X86 (32 ビット) および X86_64 (AMD64 および EM64T、32 ビット オペレーティング システムを含む)	<ul style="list-style-type: none"><li>• Windows 2003、サービスパック 2</li><li>• Windows 2003 Server、リリース 2</li><li>• Windows 2008 サーバー</li></ul>
HP-UX	PA-RISC (32 ビットまたは 64 ビット)	<ul style="list-style-type: none"><li>• HP-UX 11i V1、V2 (アップデート 2)、V3</li></ul>
	IPF	<ul style="list-style-type: none"><li>• HP-UX 11iV2 (アップデート 2)、V3</li></ul>
Sun Solaris	Sun SPARC (32 または 64 ビット)	<ul style="list-style-type: none"><li>• Solaris Sparc 9</li><li>• Solaris Sparc 10</li></ul>

## インストール要件

お使いのシステムに Performance Manager を正常にインストールする前に、Java ソフトウェア 開発キット、およびポート設定情報を入手してください。

インストール中、**HP Software** インストーラが次のタスクを実行します。

- お使いのシステムのディスク容量が要件を満たしているか確認します。ディスク容量の詳細は、ページ 10 の**ハードウェアの要件**を参照してください。
- お使いのシステムに他の **HP** ソフトウェア製品がインストールされているか確認します。
- ポートが使用されているか確認します。競合が生じた場合、ポート設定を変更するよう指示が出されます。



インストール中、デフォルトのポート番号 **http (8081)**、**https (8444)**、シャットダウン ポート (**8006**)、**JK2-AJP 13** ポート (**8010**) が他のアプリケーションにより使用されている場合、**HP** インストーラがこれを検出します。これらのポートのうちいずれかが他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、**Performance Manager** のインストールが正常に終了しても、デフォルトのポート番号を使用して **Performance Manager** にアクセスすることはできません。このような場合、**Performance Manager** にアクセスするには、**http**、**https**、シャットダウン、**JK2-AJP 13** ポート設定を変更する必要があります。詳細については、**HP Performance Manager 管理者ガイド** を参照してください。

- 検出された事項の詳細ログを提供します。
- インストールしたコンポーネントのリストを表示します。
- アップグレード中に、**Performance Manager 5.x** がインストールされているかどうかを確認します。**Windows** システムに **Performance Manager 5.x** がインストールされている場合、**Apache-tomcat** サブレット コンテナ サービスをアンインストールするように指示されます。詳細については、ページ 25 の **Performance Manager 8.10** への**アップグレード**を参照してください。

## ハードウェアの要件

適切なパフォーマンスを得るには、**600 MHz** 以上のプロセッサおよび **1 GB** のメモリを推奨します。処理の遅いシステムやメモリの少ないシステムにインストールすると、パフォーマンスが遅くなる可能性があります。

### ディスク容量

プラットフォーム	必要なディスク容量
HP-UX PA	/opt および /tmp に 550 MB
HP-UX IA	/opt および /tmp に 1.1 GB
Windows	<install_dir> に 200 MB
Solaris	/opt および /tmp に 400 MB

## メモリの要件

1 GB 以上の物理メモリ クラスタ環境の場合、クラスタの各ノードに 1 GB の物理メモリがあります。

▶ 適切なパフォーマンスを得るには、2 GB 以上の物理メモリを推奨します。

## サポートされたブラウザ

Performance Manager にアクセスするのに必要な Web ブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティング システム	サポートされたブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"><li>Firefox 1.5 および 2.0</li><li>Internet Explorer 6 および 7</li></ul>
HP-UX	<ul style="list-style-type: none"><li>HP-UX PA-RISC、11i v1、v2、v3 - Firefox 1.5</li><li>HP-UX IPF 11iv2、v3 - Firefox 1.5</li></ul>
Sun Solaris	Solaris 9 および 10 - Firefox 2.0

## 通信プロトコル

Performance Manager は、次の通信プロトコルをサポートしています。

- HTTP(S) 1.1
- RPC

Performance Manager のデフォルトでは、Embedded Performance Component (EPC) または Performance Agent で実行中のシステムとの接続に HTTP(S) プロトコルを使用します。デフォルトのデータ通信プロトコルを変更する方法については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

## Java 実行環境 (JRE) の要件

### HP-UX

デフォルトの HP-UX 設定（特にカーネルパラメータおよびシステム調節値）では、一部の Java アプリケーションに対応していません。通常、手動で調整が必要なアプリケーションは、大規模で長時間実行するサーバー側 Java アプリケーションで、大量のスレッドを有し、Performance Manager のようにサーバー接続するクライアントの割合が高くなります。Java Out-of-Box は、スタンドアロンのバンドルで、インストール時にスタートアップ (RC) スクリプトのインストール、カーネルパラメータの修正、カーネルの再構築、およびシステム再起動を行います。スタートアップ中に、スタートアップスクリプトがシステム調節値を修正するため、Java は良いサンプル動作で起動できます。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/java2/outofbox/index.html>

HP-UX システムに Performance Manager をインストールする前に、次に示すパッチ ( 更新版があればそのパッチ ) をシステムに適用してください。

Java 実行環境 (JRE) バージョン 1.50 の対応に必要な HP-UX パッチ	
HP-UX 11.11 (11iv1) PA	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PHSS_30049 - クラス Server Socket 用ネイティブライブラリのロード</li> <li>• PHKL_34534 - カーネル スレッド逆優先</li> </ul>
HP-UX 11iv2 IA および HP-UX 11iv2 PA	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PHKL_35029 - Java 5.0 ランタイムに必要な ksleep パッチ ( 全体および PA-RISC )</li> </ul>

HP-UX システム用パッチについての詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/patches/index.html>



Java 開発キット要件は、HP-UX の場合、必須となります。HP Performance Manager をインストールする前に、これらのパッチを適用するようにしてください。

## Windows

Windows システムに Performance Manager をインストールする前に、次に示すパッチ ( 更新版があればそのパッチ ) をシステムに適用してください。

Java 実行環境 (JRE) バージョン 1.50 以降の対応に必要なパッチ	
Windows 2003	Windows Scripting Host バージョン 5.6、C++ ライブラリ msvc60.dll

Windows システムのパッチの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/j2se/1.4.2/system-configurations.htm>

## その他、必要なパッチ

HP-UX 11iv1 PA	<ul style="list-style-type: none"> <li>• PHCO_25452 1.0 libc 累積パッチ</li> <li>• PHSS_22898 1.0 HP aC++ -AA ランタイムライブラリ (aCC A.03.30)</li> </ul>
Solaris 9	111711-09* 32 ビット C++ 用共有ライブラリ パッチ

## 言語のオプション

**Performance Manager 8.10** バージョンは、英語、日本語、韓国語、簡体字中国語で使用できます。ローカライズ版では、ユーザー インターフェイスの選択項目、**Web** ページ、ログ ファイル、オンライン ヘルプ、ユーザー マニュアルが、特定の言語に翻訳されています。

**Performance Manager** をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

例：日本語のローケルでは、オプションとして日本語と英語があります。



## 3 インストールの手順



お使いのシステムに **Performance Manager 8.10** をインストールするには、**Windows** システムをお使いの場合は管理者としてログオンし、**HP-UX** および **Solaris** システムの場合はルートユーザーとしてログオンする必要があります。

**OvTomcatB** が他の **HP** ソフトウェア製品にインストールされている場合は、**Performance Manager** のインストール前に、**OvTomcatb** が非権限モードで実行（つまり **HP-UX** および **Solaris** システムの場合はルートユーザー権限なしで、**Windows** システムの場合は管理者権限なしで実行）されるように設定されていないことを、確認してください。**ovtomcatb** が非権限モードで実行されるように設定されている場合、ルートユーザーまたは管理者のみが **ovtomcatb** を実行できるように設定を修正します。

**Performance Manager** を **Windows** または **HP-UX** および **Solaris** システムにインストールするには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- ページ 16 の **Windows** での **Performance Manager** のインストール
- ページ 18 の **HP-UX** および **Sun Solaris** での **HP Performance Manager** のインストール



インストール中、デフォルトのポート番号 **http (8081)**、**https (8443)**、シャットダウン ポート (**8006**)、**JK2-AJP 13 ポート (8010)** が他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、**Performance Manager** のインストールが正常に終了しても、デフォルトのポート番号を使用して **Performance Manager** にアクセスすることはできません。**Performance Manager** にアクセスするには、**http**、**https**、シャットダウン、**JK2-AJP 13** ポート設定を変更する必要があります。詳細については、**HP Performance Manager 管理者ガイド**を参照してください。

**OpenView Reporter 3.70** から **Reporter 3.80** にアップグレードすると、お使いのシステムから **Graphing Component (GC) 4.x** が削除されません。同じシステムに **Performance Manager 8.10** をインストールしようとする、**GC 4.x** をアンインストールするよう、インストーラからの指示が出されます。**GC 4.x** をアンインストールするには、下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
msiexec /x {90605306-2C02-4D00-ADD1-A3D0F1573EAA} /qb
```



**GC 4.x** をアンインストールすると、**Reporter** ユーザー インターフェイスから、オンデマンド レポートが削除されます。

ただし、お使いのシステムに **Operations Manager for Windows 7.5** がインストールされており、これを **Operations Manager for Windows 8.10** にアップグレードした場合、**GC 4.x** はお使いのシステムから自動的に削除されます。

- ▶ Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

## Windows での Performance Manager のインストール

Windows システムに Performance Manager をインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きインストール
- サポートなしインストール

### サポート付きインストール

サポート付きインストールを実行するには：

- 1 Windows 用の HP Performance Manager CD/DVD メディア を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 **HP Performance Manager をインストール** をクリックします。

または

CD/DVD-ROM ドライブで、**HPOvPM\_8.10.00\_setup.exe** をダブルクリックします。

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。

- ▶ Performance Manager をお使いの Windows システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの `temporary` ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステム上で `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**はい** をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**いいえ** をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、`temporary` ディレクトリに保存されます。`ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

- 3 ユーザーがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。
- 4 インストール ウィザードで、**次へ** をクリックします。ライセンス契約の画面が表示されます。

- 5 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。
  - ▶ お使いのシステムに他の **HP Software** 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、該当製品のアプリケーション フォルダ パスおよびデータ フォルダ パスが、**Performance Manager** のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の **HP** 製品がインストールされておらず、**Performance Manager** を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。
    - a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
    - b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。**Windows 2003** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。**Windows 2008** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 **インストール**をクリックします。
  - ▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスを参照します。このような場合、次のいずれかのオプションを使用することができます。
    - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
    - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスをクリアし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。
  - ▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。
- 8 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の **HP** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。**HP Performance Manager** ホーム ページが表示されます。
  - ▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## サポートなしインストール

- ▶ サポートなしインストールでは、システムの **temporary** ディレクトリに **ovinstallparams.ini** ファイルがある場合、インストーラはこの値をデフォルト値として使用します。インストールを開始する前に、このファイルが使用できるか確認してください。このファイルを変更したい場合、インストール前に修正してください。

### サポートなしインストールを実行するには：

- 1 **Windows** コマンドプロンプトを開き、次に示すように、**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe** ファイルが保存されているドライブ名を入力します。

**<drive>**:

この場合、**drive** は、**Performance Manager** ファイルが含まれている **CD/DVD-ROM** ドライブになります。

- 2 システム ロケールが英語に設定されている場合、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe -i silent**

ユーザがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe -i**

インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステムロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

- ▶ インストールプロセスが、バックグラウンドで実行されます。**Windows タスク マネージャ -> プロセス**を開いて、**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe** がリスト表示されていることを確認します。**<temp\_directory>/HPOvInstaller** ディレクトリ内の使用可能なログ ファイルを確認して、インストールが完全に終了したかを検証することもできます。

この場合、一時ディレクトリは、システムの **temporary** ディレクトリを指します。

## HP-UX および Sun Solaris での HP Performance Manager のインストール

HP-UX または **Solaris** システムに **Performance Manager** をインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きインストール
- サポートなしインストール

### サポート付きインストール

グラフィカルなコマンドライン インターフェイスにより、お使いの **HP-UX** または **Solaris** システムに **HP Performance Manager** をインストールすることができます。

## グラフィカル インターフェイスを使用した HP Performance Manager のインストール

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには、次のタスクを実行します。

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに入れます。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 インストール開始にあたり、X11 ターミナル ウィンドウを使用するには、DISPLAY 変数をエクスポートし X11 ターミナルをポイントするようにします。次のように入力します。

```
<CD/DVD-ROM> HPOvPM_8.10.000_setup.bin
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。このウィンドウには、導入メッセージが表示されます。



HP Performance Manager をお使いの HP-UX または Solaris システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む ovinstallparams.ini ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP インストーラが ovinstallparams.ini ファイルを確認します。HP インストーラがお使いのシステム上で ovinstallparams.ini ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**はい**をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**いいえ**をクリックします。

HP インストーラがファイルを検出できない場合は、システムにデフォルト値の ovinstallparams.ini ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。ovinstallparams.ini データを保存するには、他の HP 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

ユーザーがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

- 4 HP Performance Manager インストール ウィザードで、**次へ**をクリックします。ライセンス契約の画面が表示されます。
- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

7 インストールをクリックします。

- ▶ インストール中、すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスが表示される場合があります。このような場合、次のいずれかのオプションを使用できます。
  - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
  - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされている **Software** コンポーネントは変更されません。
- ▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができません。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。

8 詳細タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の **HP Software** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。

9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。

10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。

- ▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

### コマンドライン インターフェイスを使用した HP Performance Manager のインストール

コマンドライン インターフェイスを使用して **HP Performance Manager** をインストールするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 **HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM** メディアを、**CD/DVD** ドライブに挿入します。必要に応じて、**CD/DVD-ROM** をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。

— **Performance Manager** をスタンドアロン システムにインストールする場合

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin -i console
```

ユーザーがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

- 4 ライセンス情報について、プロンプト「ライセンス契約の条項に同意します」が表示されたら、**Y** を入力して条件に同意し、インストールを続けます。インストーラが、すべてのインストール要件を確認します。
- 5 続行するには、**Enter** をクリックします。プレインストールの概要が表示されます。
- 6 続行するには、**Enter** をクリックします。

インストールが完了すると、インストールが正常に終了したという内容のメッセージが送られます。

## サポートなしインストール

サポートなしインストールを実行するには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
HPOvPM_8.10.00_setup.bin -i silent
```

▶ インストーラが作動中の HP Performance Manager のインストールを検出した場合、**-i silent** コマンドの実行により、HP Performance Manager はアンインストールされます。検出されない場合は、Performance Manager がインストールされます。

- 4 インストールを検証するには、ログ ファイルを確認します。

## インストール結果

インストールが正常に行われた場合：

- HP-UX および Solaris システム上では、アプリケーション ディレクトリおよびデータ ディレクトリ パスが表示されます。
- Windows システム上では、HP\HP BTO Software\Performance Manager フォルダが Windows システムのスタート > プログラム メニューに追加されます。
- 複数のログ ファイルが作成され、<PM\_data\_dir>/log および <data\_dir>/log/tomcat ディレクトリに保存されます。

インストール ディレクトリのプログラム ファイルで指定した場所から、HP Performance Manager マニュアルを使用できます。HP Performance Manager ドキュメントの全リストは、[7 章、関連ドキュメント](#)を参照してください。

# Performance Manager ライセンス キーのインストール

Performance Manager を使用するには、ライセンス キー パスワードが必要です。Performance Manager を初めてインストールした場合は、60 日間有効な試用ライセンスが付与されます。製品の使用を継続するには、この 60 日の試用期間内に、正式なライセンス キー パスワードを取得するか、試用期間を延長する必要があります。

正式なライセンスを取得するには：

- 1 次のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
<install_dir>/bin/ovpm license
```

お使いの Performance Manager ライセンスの状態が表示され、License Command> というコマンドラインプロンプトが表示されます。

▶ HP-UX と Solaris システムでは、**ovpm** ライセンス コマンドを実行する前に、AutoPass GUI を適切な表示ウィンドウに送る **DISPLAY** 変数をエクスポートします。

**Performance Manager** を試用ライセンスで実行している場合は、次のメッセージが表示されます。

インスタント オン： はい。また、ライセンス有効期限、ライセンス有効期限までの残り日数が表示されます。

すでに正式な製品ライセンスがインストールされている場合、次のメッセージが表示されます。

HP Performance Manager には、永久ライセンスがあります。

- 2 コマンド **gui** を License Command> コマンド プロンプトに入力します。**HP Autopass** ユーザー インターフェイスが表示されます。画面には次のオプションが表示されます。
  - Retrieve/Install License Key
  - Install/Restore License Key from file
  - Install/Restore License Key through E-mail/Fax
- 3 上記のオプションのいずれかをクリックし、次の手順に従います。詳細については、**HP Autopass** オンライン ヘルプを参照してください。

## HP Performance Manager の削除

Windows または HP-UX および Solaris システムにインストールされた Performance Manager を削除するには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- Windows での HP Performance Manager のアンインストール
- HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール

### Windows での HP Performance Manager のアンインストール

Windows システムから HP Performance Manager をアンインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きアンインストール
- サポートなしアンインストール

#### サポート付きアンインストール

アンインストール ウィザードを使用して、Performance Manager をアンインストールするには：

- 1 HP Performance Manager が実行中の場合、停止します。
- 2 スタート > 設定 > コントロール パネル に進みます。
- 3 プログラムの追加と削除をダブルクリックします。
- 4 HP Performance Manager を選択します。
- 5 変更と削除をクリックして、アンインストールします。HP Performance Manager アンインストール ウィザードが表示されます。
- 6 **アンインストール** オプションを選択します。

- 7 次へをクリックします。「プレアンインストールの概要」画面が表示されます。
- 8 アンインストールをクリックします。ウィザードが **Performance Manager** のアンインストールを開始します。
- 9 アンインストールを完了するには、**完了**をクリックします。

## サポートなしアンインストール

Performance Manager をコマンドプロンプトを使用してアンインストールするには：

- 1 Windows コマンドプロンプトを開き、次に示すように、**HP Performance Manager HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe** ファイルが保存されているドライブ名を入力します。

**<drive>**:

この場合、*drive* は Performance Manager ファイルの場所となります。

- 2 以下のコマンドを実行します。

```
<drive>/HPOvPM_8.10.000_setup.exe -i silent
```

## HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 ディレクトリ /opt/OV/Uninstall/HPOvPM に変更します。
- 3 インストールを実行します。
  - X11 インターフェイスを使用するには、必要に応じて **DISPLAY** 変数をエクスポートし、**X11** ターミナルをポイントするようにします。次いで、コマンドを実行します。

```
./HPOvPM_8.10.000_setup.bin
```
  - X11 以外のインターフェイスを使用する場合、次のコマンドを実行します。

```
./HPOvPM_8.10.000_setup.bin -i console
```
- 4 アンインストールを選択します。

## 設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除

Performance Manager を削除しただけでは、設定ファイルやユーザー グラフ テンプレートは削除されません。データ ディレクトリからファイルを手動で削除する必要があります。

## クリーンアップスクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除

Performance Manager コンポーネント削除の後、次のクリーンアップ スクリプトを実行する必要があります。このスクリプトは `<install_dir>\support` から入手できます。

Windows 用 **clnup\_ovpm.bat**

UNIX 用 **clnup\_ovpm.sh**

クリーンアップ スクリプトは、以下のファイルを <PM\_data\_dir>\conf\perf から削除します。

- OVPMconfig.ini
- OVPMUsers.xml
- OVPMSystems.xml
- ovpm.tcf
- VPI\_GraphsUserFavorites.txt
- OVPMReportTemplate.htm
- "VPI\_" から名前が始まるすべてのフォルダ

## 4 Performance Manager 8.10 へのアップグレード

お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、PM バージョン 8.10 にアップグレードする前に、お使いのシステムで、windows 用 HPOM のバージョンが 8.10、または UNIX 用 HPOM のバージョンが 8.x であることを確認してください。

- ▶ アップグレード中、HP インストーラにより、ファイルが上書きされるため、<INSTALL\_DIR>/newconfig ディレクトリの VPI\_Graphs テンプレート ファイルを Performance Manager 8.10 にアップグレードする前に、別の場所に保存することをお勧めします。

### Performance Manager 5.x からのアップグレード

Windows または HP-UX および Solaris システム上で Performance Manager 8.10 にアップグレードするには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード
- Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

- ▶ Performance Manager バージョン 5.x は、Apache-tomcat サブレット コンテナ サービスを使用しています。Windows システムでのアップグレード中、HP インストーラから Apache-tomcat をアンインストールするよう指示が出されます。お使いのシステムにインストールされている他のアプリケーションで Apache-tomcat を使用する場合は、そのまま保持することも可能です。詳細については、Tomcat 5.0.25 の保持を参照してください。

### HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager をコマンドライン インターフェイスでアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。  
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin -i console`
- 4 インストーラからインストールを継続する指示が出されたら、Enter キーを押してください。ライセンス情報について「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。

- 5 条件に同意し、インストールを続けるには、**Y** を入力します。インストーラによって、お使いのシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。



HP インストーラがお使いのシステムに **Performance Manager 5.x** がインストールされているのを検出した場合、`/opt/jakarta-tomcat-5.0.25` ディレクトリおよびその内容は削除されません。

- 6 インストールを続けるには **Enter** キーを押してください。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリ パスなどの情報が表示されます。
- 7 インストールを続けるには **Enter** キーを押してください。アップグレードが正常に終了すると、**Performance Manager 8.10** とともにインストールされたコンポーネントのリストが表示されます。

#### X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 **HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM** メディアを、**CD/DVD** ドライブに挿入します。必要に応じて、**CD/DVD-ROM** をマウントします。
- 3 **DISPLAY** 変数をエクスポートし、**X11** ターミナルをポイントするようにします。
- 4 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin
```

**HP Performance Manager** インストール ウィザードが表示されます。次へをクリックします。ライセンス契約の画面が表示されます。



インストールプロセス中の任意の時点で、前のステップの内容を変更するには、**戻る**をクリックします。インストールをキャンセルするには、**終了**をクリックします。

- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 **アップグレード**をクリックします。



インストール中、**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用できます。

- **すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- **すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。

- ▶ アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のアップグレードを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のアップグレード再開またはアンインストールのどちらを実行するかを、確認する指示が出ます。

- 8 詳細タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の **HP Software** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。

- ▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動が必要ながある場合があります。インストールを終了しますか？」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager 8.10 にアップグレードするには：

- 1 **HP Performance Manager 8.10 CD/DVD for Windows** を、**CD/DVD-ROM** ドライブに挿入します。**HP Performance Manager** インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 **HP Performance Manager をインストール**をクリックします。  
または  
CD/DVD-ROM ドライブで、**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe** をダブルクリックします。**HP Performance Manager** インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。
- 3 **次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。
- 5 **次へ**をクリックします。インストーラがインストール要件を確認します。インストール要件の確認が完了したら、同一であることを示すメッセージが表示されます。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、**Performance Manager 8.10** とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用できます。
  - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
  - 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスをクリアし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

- 8 コンポーネント ツリーを拡張し、**HP Performance Manager** と他の **HP** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 9 **アップグレード** をクリックします。 **HP Software** インストーラが、お使いのシステムに **Performance Manager 5.0** がインストールされていることを検出した場合、「**Apache Tomcat アンインストール**」ウィンドウが表示されます。
- 10 **アンインストール** をクリックすると、**Apache Software Foundation** \jakarta-tomcat-5.0.25\ ディレクトリ内のすべてのファイルが削除されます。アンインストール後、**Tomcat5** サーバーはシャットダウンします。**Tomcat 5.0** ディレクトリにあるすべてのファイルを削除することの、確認を求めるメッセージが表示されます。その後、インストーラは **HPOVTomcatB** をインストールします。



**Apache Tomcat** をアンインストールすると **\Programs Files\Apache Software Foundation** は空になりますが、ディレクトリは削除されません。**Apache Software Foundation** ディレクトリを手動で削除することをお勧めします。

- 11 続行するには、**はい** をクリックします。**Tomcat 5.0** ディレクトリにあるすべてのファイルが削除されます。**Apache Tomcat** をアンインストールしたというメッセージが、表示されます。
- 12 **閉じる** をクリックします。**HP Software** インストーラが表示されます。
- 13 アップグレード作業を完了するには、**完了** をクリックします。お使いのシステムから **Performance Manager** バージョン **5.x** が削除され、**Performance Manager** バージョン **8.10** のデスクトップアイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。**HP Performance Manager** ホーム ページが表示されます。



システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。



アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができます。

- 「**ロールバック**」 をクリックした場合、インストールされたすべてのコンポーネントが、アンインストールされます。
- 「**終了**」 をクリックした場合、インストーラはアップグレードを停止しますが、これまでのアップグレードプロセスでインストールされたコンポーネントを、アンインストールしません。

次回、**Performance Manager** のアップグレードを開始すると、インストーラから **Performance Manager** のアップグレード再開またはアンインストールのどちらを実行するかを確認する指示が出されます。

## Tomcat 5.0.25 の保持

**Performance Manager** は、**Apache Tomcat** バージョン **5.05** をインストールします。**Tomcat 5.05** を保持するには、以下のタスクを実行します。

## Windows の場合

アップグレード中、Apache Tomcat を Apache Software Foundation\jakarta-tomcat-5.0.25 ディレクトリから削除するかどうか確認するメッセージが表示されます。アンインストールを選択すると、Tomcat5 サービスがシャットダウンし、\Apache Software Foundation ディレクトリ内のファイルが削除されます。その後、インストーラは、HPOVTomcatB を tomcat ディレクトリにインストールします。

ただし、ディレクトリは削除されません。Apache Software Foundation ディレクトリを手動で削除することをお勧めします。



Tomcat の古いバージョンが保持されている場合、関連サービスは手動で設定します。

## HP-UX および Solaris の場合

- 1 Performance Manager 8.10 のインストール Performance Manager 8.10 のインストール時に、インストーラは Apache Tomcat-5.0.25 がお使いのシステムにインストールされた状態を保持します。

インストールが終了すると、Tomcat の 2 つのインスタンスがインストールされます。

- /opt/jakarta-tomcat-5.0.25
- /opt/OV/nonOV/tomcat/b

## Performance Manager 6.x からのアップグレード

HP インストーラがお使いのシステムから Performance Manager 6.x を検出し、Performance Manager 8.10 にアップグレードします。

- HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード
- Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

## HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager をコマンドライン インターフェイスでアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin -i console
```
- 4 インストーラから、インストールを継続するように指示が出たら、Enter キーを押してください。ライセンス情報について「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。
- 5 条件に同意し、インストールを続けるには、Y を入力します。インストーラによって、お使いのシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。

- 6 インストールを続けるには **Enter** キーを押してください。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリ パスなどの情報が表示されます。
- 7 インストールを続けるには **Enter** キーを押してください。アップグレードが正常に終了すると、**Performance Manager 8.10** とともにインストールされたコンポーネントのリストが表示されます。

#### X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 **HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM** を、**CD/DVD** ドライブに挿入します。必要に応じて、**CD/DVD-ROM** をマウントします。
- 3 **DISPLAY** 変数をエクスポートし、**X11** ターミナルをポイントするようにします。
- 4 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin
```

**HP Performance Manager** インストール ウィザードが表示されます。次へをクリックします。ライセンス契約の画面が表示されます。



インストール プロセス中の任意の時点で、前のステップの内容を変更するには、**戻る**をクリックします。インストールをキャンセルするには、**終了**をクリックします。

- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 **アップグレード**をクリックします。



インストール中、すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。



アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のアップグレードを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のアップグレード再開またはアンインストールのどちらかを実行するかを、確認する指示が出ます。

- 8 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の **HP Software** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。

- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。



システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager 8.10 にアップグレードするには :

- 1 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD for Windows を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 Performance Manager をスタンドアロン システムにインストールしている場合、**HP Performance Manager をインストール** をクリックします。

または

CD/DVD-ROM ドライブで、**HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe** をダブルクリックします。

Performance Manager をクラスタにインストールしている場合、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。



HP Operations Manager がインストールされていないシステムで Performance Manager をアップグレードしている場合、アップグレードする前に、必要なファイル システムを準備しておいてください。詳細は、ページ 43 の **Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備** を参照してください。

```
HPOvPM_8.10.00_setup.exe -Dpmdatadir=<PM_data_dir>
```

この例では、<PM\_data\_dir> は共有されたクラスタドライブの位置です。

HP Performance Manager インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。

- 3 **次へ** をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。
- 5 **次へ** をクリックします。インストーラがインストール要件を確認します。インストール要件の確認が完了したら、**次へ** をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、Performance Manager 8.10 とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 6 **アップグレード** をクリックします。
- 7 **詳細** タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、HP Performance Manager と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 8 アップグレード作業を完了するには、**完了** をクリックします。お使いのシステムから Performance Manager バージョン 6.x が削除され、Performance Manager バージョン 8.10 の デスクトップ アイコンが作成されます。Performance Manager を開始するには、Performance Manager アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

# Performance Manager 8.00 からのアップグレード

HP インストーラがお使いのシステムから Performance Manager 8.00 を検出し、Performance Manager 8.10 にアップグレードします。

- HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード
- Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

## HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager をコマンドライン インターフェイスでアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。  
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin -i console`
- 4 インストーラからインストールを継続する指示が出されたら、**Enter** キーを押してください。ライセンス情報について、「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。



インストール プロセス中の任意の時点で、前のステップの内容を変更するには、**戻る**をクリックします。インストールをキャンセルするには、**終了**をクリックします。

- 5 条件に同意し、インストールを続けるには、**Y** を入力します。インストーラによって、お使いのシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。
- 6 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリパスなどの情報が表示されます。
- 7 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。アップグレードが正常に終了すると、Performance Manager 8.10 とともにインストールされたコンポーネントのリストが表示されます。

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには：

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 DISPLAY 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。
- 4 以下のコマンドを実行します。

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.10.000_setup.bin
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。**次へ**をクリックします。ライセンス契約の画面が表示されます。

- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。
- 6 次へをクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 アップグレードをクリックします。
  - ▶ インストール中、すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。
    - すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
    - すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスをクリアし、選択した HP Software コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。
  - ▶ アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができます。ロールバック オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。終了をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、Performance Manager のアップグレードを開始すると、インストーラから、Performance Manager のアップグレード再開またはアンインストールのどちらかを実行するかを、確認する指示が出ます。
- 8 詳細タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、Performance Manager と他の HP Software 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、ログ ファイルの表示をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、完了をクリックします。
  - ▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか？」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

## Windows での Performance Manager 8.10 へのアップグレード

Performance Manager 8.10 にアップグレードするには：

- 1 HP Performance Manager 8.10 CD/DVD for Windows を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 HP Performance Manager をインストールをクリックします。  
または  
CD/DVD-ROM ドライブで、HPOvPM\_8.10.000\_setup.exe をダブルクリックします。HP Performance Manager インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。
- 3 次へをクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。

- 5 **次へ**をクリックします。インストーラがインストール要件を確認します。インストール要件の確認が完了したら、**次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、**Performance Manager 8.10** とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 6 **アップグレード**をクリックします。
- 7 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**HP Performance Manager** と他の **HP** 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 8 アップグレード作業を完了するには、**完了**をクリックします。お使いのシステムから **Performance Manager** バージョン **8.00** が削除され、**Performance Manager** バージョン **8.10** のデスクトップアイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。**HP Performance Manager** ホーム ページが表示されます。

## 5 PerfView から HP への移行 Performance Manager

HP-UX および Solaris 上の HP PerfView は、HP Performance Manager バージョン C.03.xx for HP-UX / Solaris として知られています。本マニュアルでは、HP Performance Manager C.03.xx は PerfView と呼びます。HP Performance Manager 8.10 をサポートするプラットフォームのリストは、ページ 9 のサポートされたプラットフォームを参照してください。

### 移行の手順

HP Performance Manager 8.10 インストール パッケージには、pvmigrate と呼ばれるユーティリティが含まれます。この実行プログラムは、PerfView から Performance Manager へのテンプレート、ユーザー、ノード、ノード グループなどの情報の移行を支援します。

pvmigrate ユーティリティは Performance Manager の使用開始に必須ではありません。このプログラムは、PerfView から Performance Manager へ設定情報をコピーするために、1 回のみ実行する必要があります。

#### タスク 1: HP Performance Manager 8.10 のインストール

詳細は、インストールの手順を参照してください。オペレーティング システムにより、PerfView および Performance Manager は、同じシステムまたは別々のシステムにインストールすることができます。HP Performance Manager 8.10 をサポートするプラットフォームのリストは、ページ 9 のサポートされたプラットフォームを参照してください。

Performance Manager および PerfView を同じシステムにインストールする場合、タスク 3 に進みます。ただし、カスタム テンプレートのみを移行したい場合は、タスク 2 を実行した後で、オプション 3 : 個別ユーザーのカスタム ドリルダウン テンプレートを移行します。(タスク 3 内)に進みます。

#### タスク 2: PerfView から、すべての設定情報の統合およびコピー

- 1 次の構文をコマンドプロンプトで実行します。

```
pvsysdb -ll > pvsysdb_11.txt
```

ファイル pvsysdb\_11.txt には、PerfView のすべてのノードおよびノード グループの情報が含まれています。

- 2 次の構文をコマンドプロンプトで実行します。

```
pvtemputil -f > pvtemputil.txt
```

ファイル pvtemputil.txt には、PerfView のカスタム グラフ テンプレートおよび定義済みグラフ テンプレートの情報が含まれています。

- 3 次のファイルを、**Performance Manager** がインストールされているシステムにコピーします。ファイルは、以下のディレクトリにコピーする必要があります。<Install\_Dir>/bin:
  - pvsysdb\_ll.txt
  - pvtemputil.txt
  - <PV\_Install\_Dir>\rpmtools\data\drill\_\*.txt (この場合、<PV\_Install\_Dir> は、**PerfView** がインストールされているディレクトリです)

### タスク 3: Pvmigrate ユーティリティの実行

以下のオプションから選択します。

- ノード、ノードグループ、カスタムグラフ、定義済みグラフテンプレート、定義済みドリルダウンテンプレートを移行したい場合、**オプション 1**：ノード、ノードグループ、カスタムグラフ、定義済みテンプレートを移行を選択します。
- ドリルダウンテンプレートを **PerfView** から移行したくない場合、**オプション 2**：ノード、ノードグループ、カスタムグラフ、定義済みテンプレートを移行を選択します。
- カスタムグラフのみを移行したい場合、**オプション 3**：個別ユーザーのカスタムドリルダウンテンプレートを移行します。を選択します。

#### オプション 1：ノード、ノードグループ、カスタムグラフ、定義済みテンプレートを移行

- 1 ルートユーザーかスーパーユーザー（または <Data\_Dir> ディレクトリに書き込み権限のあるユーザー）として、**Performance Manager** がインストールされているシステムにログインします。
- 2 次の構文をコマンドプロンプトで実行します。

```
cd <Install_Dir>/bin
pvmigrate all
```

すべてのファイルは **Performance Manager** で解読可能な形式に変換され、ディレクトリ <Data\_Dir>/shared/server/conf/perf に保存されます。**Performance Manager** の実行中、空白のログオン名でログインすると、上記のグラフがカテゴリ **PerfView** にリストされます。

#### オプション 2：ノード、ノードグループ、カスタムグラフ、定義済みテンプレートを移行

- 1 ルートユーザーかスーパーユーザー（または <Data\_Dir>/conf/perf ディレクトリに書き込み権限のあるユーザー）として、**Performance Manager** がインストールされているシステムにログインします。
- 2 次の構文をコマンドプロンプトで実行します。

```
cd <Install_Dir>/bin
pvmigrate
```

すべてのファイルは **Performance Manager** で解読可能な形式に変換され、ディレクトリ <Data\_Dir>/shared/server/conf/perf に保存されます。**Performance Manager** の実行中、空白のログオン名でログインすると、上記のグラフがカテゴリ **PerfView** にリストされます。

### オプション 3 : 個別ユーザーのカスタム ドリルダウン テンプレートを移行します。

カスタム テンプレートのみを移行したい場合、このオプションを使用します。

- 1 ユーザーとしてログインします。
- 2 以下のコマンドを実行します。

```
cd <Install_Dir>/bin
```

```
pvmigrate local
```

すべてのファイルは Performance Manager で解読可能な形式に変換され、ディレクトリ <Data\_Dir>/shared/server/conf/perf に保存されます。Performance Manager 実行中に、これらのグラフはカテゴリ PerfView\_user にリストされます。

- 3 別のユーザーのカスタマイズされたドリルダウン テンプレートについても、上記のステップを同様に繰り返します。Performance Manager 実行中に、これらのドリルダウン テンプレートは PerfView\_user グラフ下に含まれます。グラフを表示するには、空欄のユーザーとしてログオンしてください。

## 移行後

PerfView から HP Performance Manager への移行後、以下の変更点が見られます。

表 0.1

コンポーネント	移行後
ユーザー インターフェイス	Performance Manager に Web ブラウザからアクセスすることができます。
ノードおよびノードグループのリスト	PerfView で設定したシステムおよびグループのリストは、ファイル pmsystems.txt に保存されます。このファイルは、次の場所に保存されます。 <Data_Dir>/shared/server/conf/perf
バッチの実行	PerfView と Performance Manager は、どちらもバッチ スクリプトから実行できます。リスト PerfView のバッチ コマンドで Performance Manager との比較を確認してください。

## 移行後のテンプレートの変更

Performance Manager への移行後のテンプレートの変更点を以下に示します。

- 移行後、ドリルダウン テンプレートのソートおよびフィルタの情報は保持されません。ただし、Performance Manager では、表のフィルタおよび強調表示のオプションを提供しています。詳細については、HP Performance Manager チュートリアルを参照してください。

- **PerfView** のバージョンによっては、データソース、クラス、インスタンス、およびメトリック名を組み合わせてメトリックのラベルとしていました。たとえば "SCOPE:GLOBAL:GLOBAL:GBL\_CPU\_TOTAL\_UTIL"。 **PerfView** の新しいバージョンでは、メトリックのラベルには、システム名とメトリック名のみが含まれています。たとえば、 "MySystem:GBL\_CPU\_TOTAL\_UTIL"。 または、これにインスタンス名も加えたラベル（たとえば、 "MySystem:Desktop:APP\_CPU\_TOTAL\_UTIL"）としました。 **Performance Manager** では、ユーザー定義のメトリック ラベルをサポートしています。移行後、メトリック名は **PerfView** のドリルダウン ラベルと一致するように変更され、システム名はグラフ タイトルに組み込まれます。
- **PerfView** のグラフごとのメトリック数は 8 個です。 **Performance Manager 8.10** ではグラフごとのメトリックの値を設定することができます。
- **Performance Manager** では、一度に複数のシステムを選択し、複数のシステムについてグラフを作成できます。この機能は **PerfView** では使用できません。
- **PerfView** では、複数インスタンス グラフ（アプリケーション、トランザクションなど）の場合、グラフ化するインスタンスの選択を要求されます。 **Performance Manager** のデフォルトでは、すべてのインスタンスが選択されます。ただし、ユーザー インターフェイスから、インスタンス指示オプションを無効にすることができます。インスタンス指示についての詳細は、ユーザー インターフェイスから [オンライン ヘルプ](#) を参照してください。
- **PerfView** では、グラフ定義は、グラフをデザインするノードと関連付けられます。例：「グローバル履歴」グラフは、**HP-UX** と **Windows** のノードでは異なったものとなります。移行後、この異なるグラフは、グラフ名にシステム名を付加することにより識別されます。  
例：
  - "History" は、**HP-UX** およびほとんどのシステム用のグラフです。
  - "NT History" は、**NT** システム用のグラフです。
  - "Windows History" は、**Windows 3.1** および **Windows 9x** 用のグラフです。
  - "MPE History" は、**MPE** オペレーティング システムが稼動する **HP 3000** システム用のグラフです。

グラフの作成時に、選択したシステムに最も近いものを選ぶ必要があります。

**PerfView** を使用してデザインしたドリルダウン表を使うには、システムおよび表示期間を選択し、グラフ リストからドリルダウン表を選択します。 **PerfView** とグラフのデータをなるべく近い内容にしたい場合は、ポイント間隔の値として未集計を指定する必要があります。「ポイント間隔」に「未集計」以外の値を指定すると、より長い期間のデータが要約され、表示されます。

グラフ テンプレートでマルチ インスタンス メトリックを指定した場合、移行後に、インスタンスが識別できるように、グラフ ラベルにパラメータ "@@" を追加する必要があります。このパラメータは、グラフ テンプレートの編集により、またはユーザー インターフェイスから追加することができます。

## PerfView のバッチ コマンド

次の表は、PerfView のキーワードと Performance Manager のキーワードの比較表です。グラフをバッチおよびキーワードで実行する方法については、*HP Performance Manager 管理者ガイド*を参照してください。

表 1 PerfView のバッチ コマンド

PerfView コマンド		ovpmbatch キーワード
<b>b[egindate]</b> <date_specifier>	開始日の指定	<b>STARTTIME</b>
<b>dest</b> <destination-string>	印刷先の指定 (ファイルまたはプリンタ)	<b>outputdir=&lt;directory&gt;</b>
<b>ds</b> <datasource_name>	入力データソースの指定 (必須)	<b>DATASOURCE=PA</b> または <b>EPC</b> <b>CLASS=&lt;class_name&gt;</b>
<b>e[nddate]</b> <date_specifier>	終了日の指定	<b>STOPTIME=YYYY,MM,DD</b> <b>HH:MM:SS.</b>
<b>format</b> ["ascii", "wks", "graph"]	出力形式の指定	<b>GRAPHTYPE=</b> Line, area, bar, hbar, mixed, pie, table, htable, gauge, xml, csv, tsv
<b>graph</b> <graph name>	グラフの作成	(実行するごとに 1 つのグラフ)
<b>gn</b> <graph_name>	グラフ名の指定	<b>GRAPH=&lt;graph_name&gt;</b>
<b>gt</b> ["line", "pie", "stacked"]	グラフの種類指定	<b>GRAPHTYPE=</b> Line, area, bar, hbar, mixed, pie, table, htable, gauge, xml, csv, tsv
<b>h[elp]</b>	コマンドライン構文の出力	<b>?</b>
<b>met[ric]</b> <metric_name>	メトリックの指定	<b>METRIC=&lt;metric_name&gt;</b> <b>DATASOURCE=PA/EPC</b> <b>SYSTEMNAME=&lt;system_name&gt;</b> <b>CLASS=&lt;class_name&gt;</b>
<b>range</b> <date_range>	グラフの表示期間の設定	<b>DATERANGE=&lt; Minutes, Hours, Days, Weeks&gt;</b> <b>ENDING=&lt;now&gt; &lt;last&gt; &lt;date / time&gt;</b>
<b>sum</b> <summarization_level>	要約レベルの選択	<b>POINTSEVERY=&lt;duration&gt;</b> <b>NUMBEROFPOINTS=&lt;number&gt;</b>
<b>ymax</b> <max_value>	Y 軸最大値の指定	<b>MINY=&lt;real number&gt;</b> <b>MAXY=&lt;real number&gt;</b> <b>MINYR=&lt;real number&gt;</b> <b>MAXYR=&lt;real number&gt;</b>



# 6 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール

Performance Manager を Windows または HP-UX および Solaris のクラスタ環境にインストールするには、次のセクションで説明されている手順に従います。HP Performance Manager インストール ウィザードは、クラスタ環境を検出することができません。

- ページ 43 の [Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール](#)
- ページ 46 の [HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール](#)

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合は、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定をしておく必要があります。

## クラスタ用語

### リソース グループ

VERITAS クラスタ、Sun クラスタ、MC/ServiceGuard などのクラスタ環境では、アプリケーションは複合リソースとして示されます。リソースを集めたリソース グループは、クラスタ環境で実行されるアプリケーションを示します。

リソース グループの用語は、クラスタ環境により異なります。異なるクラスタ環境での用語リストは、表 2 を参照してください。本マニュアルでは、クラスタ環境のリソース グループを指す一般的な用語として、クラスタ固有の用語の代わりに高可用性 (HA) リソース グループが使用されています。Performance Manager はクラスタ指向であり、専用リソース グループが必要となります。

表 2 クラスタ環境のリソース グループ

クラスタ環境	略語	HA リソース グループの指す内容
MC ServiceGuard	MC/SG	パッケージ
VERITAS クラスタ サーバー	VCS	サービス グループ
Sun クラスタ	SC	リソース グループ
Microsoft サーバー クラスタ	MSCS	リソース グループ

- ▶ お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、**Performance Manager** を同じリソース グループに設定する必要があります。
- お使いのシステムに **Performance Manager** と **Reporter** がインストールされている場合、**Performance Manager** と **Reporter** の両方に同じリソース グループを設定しても、別々のリソースグループを設定しても構いません。

## システム要件

**Performance Manager** をインストールする前に、クラスタの各ノードについてページ 9 の **インストール要件** が満足されていることを確認してください。

### Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件

**Performance Manager** にクラスタ設定をするには、次のリソースが使用可能か確認してください。

- 最低 2 つのノード サーバー クラスタ
- PM 設定ファイル保存用の共有ディスク
- クラスタの仮想サーバー名を解決する最低 1 つの専用静的 IP アドレス

## インストール前に

システムに **HP Operations Manager** がインストールされていない場合、**Performance Manager** をクラスタ環境でインストールする前に、データ ディレクトリのファイル システムを準備する必要があります。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- ページ 43 の **Windows** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備
- ページ 46 の **HP-UX** および **Solaris** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

**HP Operations Manager** がクラスタ環境でインストールされている場合、ファイル システムを準備する必要はありません。そのまま、インストールを進めることができます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- ページ 43 の **Windows** クラスタ環境での **Performance Manager** のインストール
- ページ 46 の **HP-UX** または **Solaris** クラスタでの **Performance Manager** のインストール

- ▶ 同じクラスタの複数のノードで、同時にインストールを開始しないでください。まず、1 つのノードに **Performance Manager** をインストールし、インストールの完了を待ってから、次のノードのインストールを開始します。

## Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタ システムに Performance Manager 8.10 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

### HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合

- 1 インストール方法は、ページ 16 の **Windows** での Performance Manager のインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 2 ステップ 10 に進みます。

### HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合

ファイル システムを準備する必要があります。詳細は、ページ 43 の **Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備** を参照してください。ファイル システムを準備した後、インストールを進めます。インストールの方法は、**Windows** でのファイル システム準備後のインストール手順を参照してください。

#### Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

- 1 クラスタの共有ドライブでの <PM\_data\_dir> の位置を、特定します。
- 2 ディレクトリ構造を作成します。例：データ ディレクトリを R:\HP にする場合、共有されたクラスタ ドライブに完全なディレクトリ構造 R:\HP\<data\_dir> を作成します。

#### Windows でのファイル システム準備後のインストール手順

データ ディレクトリのファイル システムを準備したあと、Performance Manager をインストールするため、以下のタスクを実行します。

- 1 以下の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
HPOvPM_8.10.00_setup.exe -Dpmdatadir=<PM_data_dir>
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。

 Performance Manager をお使いの Windows システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む ovinstallparams.ini ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは ovinstallparams.ini ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステムで ovinstallparams.ini ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**はい**をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**いいえ**をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の ovinstallparams.ini ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。ovinstallparams.ini データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

- 2 ユーザーがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。
- 3 インストール ウィザードで、**次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。

 お使いのシステムに他の HP Software 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、該当製品のアプリケーション フォルダ パスおよびデータ フォルダ パスが、Performance Manager のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の HP 製品がインストールされておらず、Performance Manager を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。

- a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
- b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。Windows 2003 では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。

- 5 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

6 インストールをクリックします。

▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用できます。

- **すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- 「**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**」チェック ボックスをクリアし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。

7 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。

8 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。

9 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP **Performance Manager** ホーム ページが表示されます。

▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

10 インストールを確認する方法は、ページ 21 の**インストール結果**を参照してください。

11 **Performance Manager** のホーム ページに、ブラウザからアクセスできることを確認してください。URL に、ノードの名前または IP アドレスを指定します。

例 : <http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM>

12 **Performance Manager** を停止するため、次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -stop ovtomcatB
```

13 次のノードに共有ドライブを含むリソース グループを移動します。

14 クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。

15 クラスタ内のすべてのノードについて、**ステップ 1** から**ステップ 12** を繰り返します。

16 **Performance Manager** のインストールが完了したら、すべてのノードで **Performance Manager** を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -start ovtomcatB
```

- 17 すべてのノードに **Performance Manager** がインストールされた後、ブラウザから **Performance Manager** ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

構文：

**http://<clustername>:8081/OVPM**

**http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM**

デスクトップ上の **Performance Manager** アイコンをクリックして **Performance Manager** を開く場合、ショートカットを修正し、クラスタ名または IP アドレスをポイントするようする必要があります。デフォルトのショートカットは、物理ノードの名前または IP アドレスをポイントします。



**Performance Manager** を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

## HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

データ ディレクトリのファイル システムを準備するには、次のステップに従います。

- 1 ディレクトリ `<OVDataDir>/shared/server` を作成します。デフォルトのデータ ディレクトリ (`OVDataDir`) は次のようになります。`/var/opt/OV/conf/perf`。別のディレクトリを指定することはできません。
- 2 共有ドライブのマウント ポイントの準備：

```
/var/opt/OV/shared/server
```

ルートユーザーにマウントの「書き込み」権限が与えられているか確認してください。ファイル システムにマウントした後、インストールを進めます。

## HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール

**Performance Manager** をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに **Performance Manager** をインストールする必要があります。クラスタ システムに **Performance Manager 8.10** をインストールするには、以下のタスクを実行します。

- 1 **Performance Manager** を HPOM がインストールされているノードにインストールする場合、**ステップ 2** へ進みます。**Performance Manager** を HPOM がインストールされていないノードにインストールする場合、データ ディレクトリのファイル システムを準備する必要があります。ファイル システムの準備方法については、ページ 46 の **HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備** のセクションを参照してください。
- 2 **Performance Manager 8.10** をこのノードにインストールします。インストールの方法は、ページ 18 の **HP-UX および Sun Solaris** での **HP Performance Manager** のインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 3 すべてのノードのインストールを確認する方法は、ページ 21 の **インストール結果** を参照してください。

- 4 Performance Manager 8.1 のホーム ページに、ブラウザからアクセスできるか確認してください。URL に、クラスタの主なノード名または IP アドレスを指定します。

例 : **http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM**

- 5 Performance Manager 8.10 を停止するため、以下の構文をコマンド プロンプトに入力します。

**ovc -stop ovtomcatB**

- 6 次のノードに共有ディスクを含むリソース グループを移動します。
- 7 クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。
- 8 クラスタ内のすべてのノードについて、**ステップ 1** から **ステップ 5** を繰り返します。
- 9 すべてのノードで Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンド プロンプトに入力します。

**ovc -start ovtomcatB**

- 10 すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

**http://<clustername>:8081/OVPM**

**http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM**



Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

## クラスタにインストールした Performance Manager を 8.10 へアップグレード

### Performance Manager 6.x からのアップグレード

HPOM 8.10 がシステム上にインストールされている場合、データ ディレクトリのファイル システムを準備する必要があります。Performance Manager のアップグレード方法は、ページ 29 の [Performance Manager 6.x からのアップグレード](#) を参照してください。

お使いのシステムに HPOM 8.10 がインストールされていない場合は、ファイル システムを準備する必要があります。次のセクションの指示を参照してください。

- 1 ページ 43 の **Windows** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備または
- 2 ページ 46 の **HP-UX** および **Solaris** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

ファイルシステムを準備した後、すべてのノードへのアップグレードを、一度にノード 1 つずつ進めていきます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。ページ 29 の [Performance Manager 6.x からのアップグレード](#)。

## Performance Manager 8.0 からのアップグレード

すべてのノードにインストールされている **Performance Manager 8.0** を、一度に 1 ノードずつアップグレードできます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。ページ 32 の **Performance Manager 8.00 からのアップグレード**。

## HP Performance Manager の削除

**Performance Manager** のアンインストール方法は、ページ 22 の **HP Performance Manager の削除** を参照してください。**Performance Manager** をクラスタの最後のノードからアンインストールする際、最後のノードの共有ドライブが作動しているか確認してください。

## 7 関連ドキュメント

**Performance Manager** に関する情報は、複数のソースから入手することができます。**Performance Manager** 使用法の主な情報源として、コンテキスト依存のヘルプ システムをご利用いただけます。お使いのシステムに **Performance Manager** をインストールすると、同時に、インストール ガイドおよびリリース ノートがインストールされます。

ドキュメント	場所	用途
コンテキスト依存のオンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Performance Manager</b> ヘルプのドロップダウン メニューからご利用いただけます。</li><li>• コンテキスト依存ヘルプのページは、それぞれの画面に対応しており、画面およびダイアログ ボックス上でヘルプ ボタンをクリックすると表示されます。</li></ul>	以下のタスクを行うためのユーザー ガイド： <ul style="list-style-type: none"><li>• すぐに使用できるサンプル テンプレートを使用した、さまざまな種類のグラフ作成</li><li>• インスタンス比較グラフ、システム比較グラフ、マルチソース グラフのデザイン</li><li>• 既存のグラフ定義の編集、およびユーザー定義グラフとしての保存</li><li>• ドリルダウンで、必要な精度によるデータ表示</li><li>• お気に入りリストへのグラフの追加</li><li>• グラフの削除</li></ul>
チュートリアル	<b>Performance Manager</b> ヘルプのドロップダウン メニュー	<b>Performance Manager</b> の設定およびさまざまなタスクの実行を行うための、ステップごとの説明。
管理ガイド		データソースの設定、セキュアな通信の設定、バッチ パラメータの使用、顧客/ユーザー/ノードの管理などに関する情報の提供。
リリース ノート		<b>Performance Manager 8.10</b> リリースに関する情報の提供。



## A コンポーネントおよびパッチ

Performance Manager の各バージョンのインストール パッケージから入手できるコンポーネントおよびパッチのリストを次の表に示します。

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
6.0	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPOvBbc-05.20.050</li><li>• HPOvCtrl-01.50.230</li><li>• HPOvJxpl-02.61.020</li><li>• HPOvJPacc-10.00.132</li><li>• HPOvJbbc-05.20.050</li><li>• HPOvJdkA-01.04.220</li><li>• HPOvJsec-02.20.040</li><li>• HPOvXpl-02.61.020</li><li>• HPOvPacc-10.00.131</li><li>• HPOvSecCo-02.20.040</li><li>• HPOvTomcatA-05.00.285</li><li>• HPOvLic-04.32.000</li><li>• HPOvLicJ-01.04.00</li></ul>
6.01.000 および 6.00.040 (パッチ)	<ul style="list-style-type: none"><li>• HPOvBbc-06.00.051</li><li>• HPOvCtrl-01.50.230</li><li>• HPOvJxpl-02.610.082</li><li>• HPOvJPacc-10.000.180</li><li>• HPOvJbbc-06.00.051</li><li>• HPOvJdkA-01.04.220</li><li>• HPOvJsec-02.20.040</li><li>• HPOvXpl-02.610.082</li><li>• HPOvPacc-10.000.180</li><li>• HPOvSecCo-02.20.040</li><li>• HPOvTomcatA-05.00.285</li><li>• HPOvLic-04.32.000</li><li>• HPOvLicJ-01.04.00</li><li>• HPOvLcja-02.10.000</li><li>• HPOvLcko-02.10.000</li><li>• HPOvLczS-02.10.000</li></ul>

製品バージョン/パッチ	コンポーネント/コンポーネント依存関係/パッチ
06.01.060 (パッチ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HPOvBbc-06.000.060</li> <li>• HPOvCtrl-01.50.230</li> <li>• HPOvJxpl-02.610.120</li> <li>• HPOvJPacc-10.000.251</li> <li>• HPOvJbbc-06.000.060</li> <li>• HPOvJdkA-01.040.230</li> <li>• HPOvJsec-02.200.100</li> <li>• HPOvXpl-02.610.120</li> <li>• HPOvPacc-10.000.251</li> <li>• HPOvSecCo-02.200.100</li> <li>• HPOvTomcatA-05.000.290</li> <li>• HPOvLic-04.32.000</li> <li>• HPOvLicJ-01.04.00</li> <li>• HPOvLcja-02.10.000</li> <li>• HPOvLcko-02.10.000</li> <li>• HPOvLczS-02.10.000</li> </ul>
8.00.000	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HPOvXpl (Windows)-06.00.076</li> <li>• HPOvJxpl-06.00.076</li> <li>• HPOvBbc-06.10.060</li> <li>• HPOvJbbc-06.10.060</li> <li>• HPOvJPacc-10.50.050</li> <li>• HPOvJsec-6.00.050</li> <li>• HPOvSecCo-6.00.050</li> <li>• HPOvTomcatB-05.05.230</li> <li>• HPOvJREB-1.05.005</li> <li>• HPOvJdkB-1.05.005</li> <li>• HPOvSecCC-06.00.050</li> <li>• HPOvLic-05.50.052 (Windows)</li> <li>• HPOvLic-05.51.053 (Solaris)</li> <li>• HPOvLic-05.51.061 (HP-UX)</li> </ul>



